

ディプロマポリシー		<ul style="list-style-type: none"> 電気工学に関する基礎的理論と複合的な専門的知識、さらに応用技術まで幅広く理解し、広い視点と高い倫理性に基づいて、先端技術動向やニーズを踏まえた総合的な判断力によって研究の実践、課題解決ができる。 電気工学に関する専門的技術を有し、技術的課題解決のため、他者との協働、外国語を含めたコミュニケーションやプレゼンテーションができる。 																												
専攻単位数合計		13単位			20単位			10単位			12単位		6単位		8単位		6単位		8単位		97単位									
M2 M1		●●：必修科目		○：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		□：選択必修科目		97単位										
前期・後期		グローバルテクノロジー特論b 1		材料・デバイス開発実務特論 3		ロボティクス特論 2		CAD/CAM特論 2		エン지니어リング・コミュニケーション特論 1		半導体エレクトロニクス特論 2		ソフトウェア工学特論 2		通信システム・方式特論 2		電力工学特論 2		エネルギー・環境工学特論 2		97単位								
前期・後期		グローバルテクノロジー特論a 1		航空宇宙工学特論 2		自動車工学特論 2		グローバル・リーダーシップ特論 2		表示デバイス工学特論 2		光機能工学特論 2		計算機工学特論 2		パワーエレクトロニクス特論 2		最適システム工学特論 2		材料設計工学特論 2		加工学特論 2								
前期・後期		応用数学特論 2		技術経営特論 2		国際ナショナルプレゼンテーション 1		グローバル・リーダーシップ特論 2		フォトニクス工学特論 2		半導体デバイス工学特論 2		電磁波工学特論 2		メカトロニクス特論 2		システム制御工学特論 2		材料実験力学特論 2		流体工学特論 2								
前期・後期		応用物理学特論 2		外国語特論 2		● フィールド研究 4		フィールドプラクティス 4		電子物性特論 2		集積回路設計特論 2		情報工学特論 2		プラズマ工学特論 2		インテリジェントメカニクス特論 2		機能材料工学特論 2		伝熱工学特論 2								
前期・後期		数学科目		学際科目		専攻横断		分野		光・エレクトロニクス		情報・通信		エネルギー・機器		制御・システム		材料・機械工学		熱・流体		設計・製作								
前期・後期		共通横断		専攻横断		分野		エレクトロニクス・情報分野		電機・制御分野		機械工学分野		年間履修上限単位数なし																
キャリア		<ul style="list-style-type: none"> 「専門」に「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」を置き、学士課程教育で培ったエンジニアとしての能力をさらに高度化する。また、高度な基礎理論から最新の応用技術にわたる幅広い専門知識と先端技術のみならず、最新の専門的理論や最先端の応用技術を体系的に修得する。同時に国内外の関連する文献を調査・要約・整理してまとめた内容を的確に伝達する能力を養成するとともに、国内外での研究発表を通じて、自身の考えや研究成果を的確に伝達し議論できるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を身に付ける。 「専門横断」では、研究分野の専門知識・技能を深めるとともに、他の工学分野と共通する工学知識や技術を修得する。 「共通横断」では数理分野・語学から社会倫理におよぶ幅広い知識を修得することにより、ユニバーサルな観点にわたる確かなもの見方と考え方を確立する。 																												
アドミッション		<p>「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」において、高度な専門知識やスキルを駆使し、また、機械工学の知識を加味することで、社会・産業界が求める最新の技術開発ができる高度な技術者を養成する。また、社会貢献するという強い意志と自身の考えに基づいて解決能力を持って、それを実現するために努力を惜しまない学生を求めている。</p> <p>【求める人物像】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「エレクトロニクス・情報分野」、「電機・制御分野」の基礎と応用技術を修得し、新しい技術開発に携わり、積極的に社会貢献したいと考えている人 自然環境と共生を伴った社会の発展のために、自ら努力して成長していきたく意欲のある人 人間的な成長および自己実現をめざす向上心を持ち、共同作業の重要性を認識し実行できる人 																												
ディプロマ		<p>4年以上在学して所定の単位を修得し、授業や卒業研究を通じて、下記に開げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定し、学士(工学)の学位を授与する。</p> <p>＜工学部＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を保持できる。【関心・意欲】【主体的な学修学習を継続する意欲と関心】 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身に付けそれらを活用できる。【知識・理解・技能】【技術者に求められる文・理・情報系の素養】 専門分野の知識・技能を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。【理解・応用・技能】【専門分野の知識・技能（細部まで理解）】 技術者および社会人として必要とされるコミュニケーション能力を備え、他者との意見・意向を正確に理解するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。【協働・表現】【相互に理解し議論するコミュニケーション能力】 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。【意欲・協働】【他者との協働による課題解決力】 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。【理解・応用・倫理】【社会に対し能動的に貢献する行動力】 <p>◆注：「3」を明確化したものが、各学科のDPとなる</p> <p>＜電子情報システム工学科＞</p> <p>電子情報システム工学科では、工学部ディプロマ・ポリシーに基づき、専門学術の基礎と実践力を継承できるよう、学位として下記に掲げる能力を備えていると判断できる学生に対して卒業を認定する。</p> <p>【(A) 数学や自然科学から情報技術の基礎的知識と技能を習熟している。A-1) 数学や自然科学等の基礎的知識を応用することができる。【数学・自然科学の基礎的知識と応用力】A-2) コンピュータによる文書・統計資料の作成ならびに情報検索ができる。【文書・統計資料の作成と情報検索能力】】</p> <p>【(B) 国際社会への貢献を促し、技術倫理に基づいて行動できる。B-1) 人文科学や社会科学に関する幅広い知識を持ち、地球的な視野で持続可能な社会を構築することができる。【人文科学・社会科学の知識と社会貢献の自覚】B-2) 技術者として必要な社会倫理を理解・実践できる。【技術者倫理の理解と実践力】】</p> <p>【(C) 国内外で活躍する技術者に必要な自己実現力の基礎が身につく。C-1) 日本語での論理的な表現ができる。【日本語での論理的な表現力】C-2) 外国語での社会的なコミュニケーションができる。【外国語での社会的なコミュニケーション能力】】</p> <p>【(D) 電子・情報通信分野の課題に取り組むために必要な専門知識と技能を蓄積している。D-1) 電気回路などの専門的知識を応用して活用できる。【電気回路の専門的知識と活用能力】D-2) 電子デバイスや情報処理、ハードウェアソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得し活用できる。【電子・情報通信分野での知識・技能と活用能力】D-3) 電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に活用できる。【電子・情報通信分野での課題解決能力】】</p> <p>【(E) 自主的な学習による問題解決能力を継続的に向上させることができる。E-1) チームワークで課題解決の計画を立案してそれを実行できる。【チームワークによる課題解決能力】E-2) まざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。【独自の方法での課題解決能力】E-3) 与えられた条件下で課題を解決できる。【与えられた条件下での課題解決能力】E-4) 自主的な学習を継続することができる。【自主的な学習の継続能力】】</p>																												
分野別到達目標		グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的教養と「読解・理解」能力、言語的・論理的思考力、自己表現力、協働力、国際的視野を兼ね備えた人材を育成する。また、心身の健康を維持し、自己実現を促す。				工学部から社会を担うに必要とされる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学の基礎的知識と技能を習熟し、これらを活用して、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に活用できる。				グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的教養と「読解・理解」能力、言語的・論理的思考力、自己表現力、協働力、国際的視野を兼ね備えた人材を育成する。また、心身の健康を維持し、自己実現を促す。				電気回路などの専門的知識を身につけている。日本語による論理的な表現ができる。技術的内容を伝達するプレゼンテーションが実行できる。電子・情報通信分野の専門知識を理解して課題解決に活用できる。チームワークで課題解決の計画を立案して実行することができる。さまざまな解決方法がある課題を独自の方法で解決することができる。与えられた条件下で課題を解決することができる。自主的な学習の継続をすることができる。				技術者として必要な社会倫理を理解している。				電子デバイスやハードウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。電子工学の基礎となるトランジスタなどの物理を理解し、それを組み合わせた電子回路により工学的な仕掛けを作りだすシステム技術を構築できる。				情報通信工学やソフトウェアに必要な知識や技能が自主的な学習計画に基づいて修得できている。情報通信に関わる数学的知識に基づき、情報を管理するモデルを設計し、習得した技術をシステムの利用と開発に応用することができる。				卒業に必要な単位数124単位
専攻単位数合計		-			-			-			36単位		6単位		26単位		26単位		94単位											
254		前期・後期		数学(2)		微分方程式I(2)		線形代数(2)		インターンシップ(2)		情報と職業 2		メディア情報開発 2		映像・音響工学 2		-		-										
前期・後期		物理学(2)		微分方程式II(2)		ベクトル解析(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電機・通信法規 2		ネットワーク設計 2		情報理論 2		-		-										
前期・後期		化学(2)		ものづくりマネジメント技術		線形代数III(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		情報社会と倫理 2		コンピュータシステム 2		コンピュタシステム 2		-		-										
前期・後期		日本語の歴史(2)		を話かす修習(2)		線形代数IV(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		光エレクトロニクス 2		デジタル電子回路 2		半導体デバイス工学 2		デジタル信号処理 2		-										
前期・後期		法学(日本国憲法)(2)		知財法論(2)		複素解析I(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		半導体デバイス基礎 2		電子回路設計 2		電子回路設計 2		コンピュータグラフィクス 2		通信方式II 2										
前期・後期		経済学(2)		品質管理(2)		複素解析II(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		アナログ電子回路 2		レーザ工学 2		レーザ工学 2		ネットワーク工学 2		無線通信工学 2										
前期・後期		歴史学(2)		標準と統計I(2)		応用数学I(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電気磁気学III 2		制御工学 2		制御工学 2		通信方式I 2		電磁波工学 2										
前期・後期		心理学(2)		標準と統計II(2)		応用数学II(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電気回路II 2		電気回路II 2		電気回路II 2		固体エレクトロニクスII 2		-										
前期・後期		日本の伝統と文化(2)		認知と環境(1)		実践化学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		量子エレクトロニクス入門 2		-										
前期・後期		国際関係論(2)		宇宙・地球・生命-探究演習(1)		地球システムと人間(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		日本の文化と社会II(2)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		日本の文化と社会III(2)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論a(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論b(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論c(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論d(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論e(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論f(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論g(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論h(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論i(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論j(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論k(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論l(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論m(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論n(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論o(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論p(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論q(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論r(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論s(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論t(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論u(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論v(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論w(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論x(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論y(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論z(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論aa(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ab(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ac(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ad(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ae(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論af(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ag(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ah(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ai(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論aj(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ak(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論al(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論am(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論an(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ao(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III 2		-		-										
前期・後期		トランスジェンダー論ap(1)		工学倫理(2)		環境生物学(2)		グローバルテクノロジー論a(1)		グローバルテクノロジー論b(1)		電子情報システム実験I 2		電子情報システム実験II 2		電子情報システム実験III														